



旭だより



発行：旭行政区長 編集：旭行政区広報部 2020年11月1日号

【区長から皆さまへ】

区長 谷田 修

☆三好丘旭の住民になって

わが家が三好丘旭に越してきて20年余りたちました。その前は名古屋市天白区原のマンションに10数年間住んでいましたが、少し手狭になってきたので、鶴舞線の沿線で住み替えようと物件を探していました。

たまたま、その頃の上司が、住宅都市整備公団に出向して、設計チームのスタッフとして担当したのが「アートヒル三好丘」の街づくりでした。

その上司から「三好丘は公団の自信作だ。一度見に行ってみてこい。」と勧められたので、現地を見に来ました。そして、三好丘の歩車分離や緑豊かな環境が気に入り、ここに住む決心をしました。

平成10年の頃なので、三好丘地区のいたるところで住宅地が造成され、物件が豊富にありました。その中で、三好丘緑の湖畔に建つ家が気に入り申し込んだのですが、抽選に外れてしまい、次に申し込んで当選したのが、今の旭の住まいです。

三好丘緑地に近く、豊田通商のウィングの建物がドラマに出てくるホテルのようで、毎日窓から眺めていましたが、今はなくなってしまい少し残念です。



☆豊田線と「三好ヶ丘駅」

住むことを決めたもう一つの理由は、鶴舞線直通の豊田線の「三好ヶ丘駅」です。乗りなれた「原駅」から6つ目の駅という親近感もありました。

そこで、名鉄豊田線とタイアップした公団による「三好丘地区」の開発の経緯と「三好ヶ丘駅」の設置について、「アートヒル三好丘物語」の続編を執筆させていただきました。



◎各行事の予定(11月1日現在)

11月8日(日)	ごみゼロ活動	行政区の自主事業として実施
14日(土)	スタンプラリー	自宅→チェックポイント→三好丘小学校
12月5日(土)	旭ソフトボール大会	一般の区民も募集
1月中旬	新春お年玉抽選会	申込された各世帯単位で抽選
1月下旬	マラソン・駅伝大会	中止
2月予定	旭ポッチャ大会	いきいきクラブと一般参加者で合同大会

【いきいきクラブだより】

旭いきいきクラブ会長 筑尾 彰二

旭いきいきクラブでは恒例行事の秋の研修会の実施を検討してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の実施が危ぶまれた状況でありましたが、旅行会社と知恵を絞りだして何とか実施することとなりました。

◎10月4日(日)ポッチャと輪投げの試合を実施しました。参加者は25名(平均年齢78歳)

いきいきクラブに入会しましょう。

(65歳以上の男女)

申込書：旭集会所にあります！



【児童厚生員だより】

10月31日(土)、11月1日(日)に旭行政区文化祭がありました。

子ども達の作品もたくさん出展していただきましてありがとうございました。

なお、参加賞がありますので取りにきて下さい。



◇オゾン除菌・消臭器を設置しました。

集会所ホール内に、コロナ対策としてオゾン除菌・消臭器を設置しました。オゾンのかで部屋を除菌します。

◇11月の工作

- ・プラ板
- ・アイロンビーズ
- ・キラキラアート
- ・ポンポンづくり他



11月カレンダー(×の日は休館日)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



集会所利用時のお願い

- ・検温とマスクの着用
- ・手指のアルコール消毒
- ・利用の人数と時間制限あり
- ・体調が悪い時は遊ばません

【子ども会情報】

いつも子ども会活動のご理解、ご協力ありがとうございます。

秋も深まり、活動しやすい時期になりましたね。10月の終わりに実施のボウリング大会は、急な開催にもかかわらず参加していただきありがとうございます。

コロナ禍の中、感染予防対策に気を付けながら、楽しい活動企画ができたかと役員一同思っております。またの機会をお楽しみに。



「アートヒル三好丘」物語 その2



1 「名鉄豊田線」の路線計画



名鉄豊田線は昭和 30 年代に計画が持ち上がりましたが、当初は「八事」から一直線で豊田市の「拳母」まで行く計画でした。

(「乗り物の歴史」豊田市郷土資料館編集より)

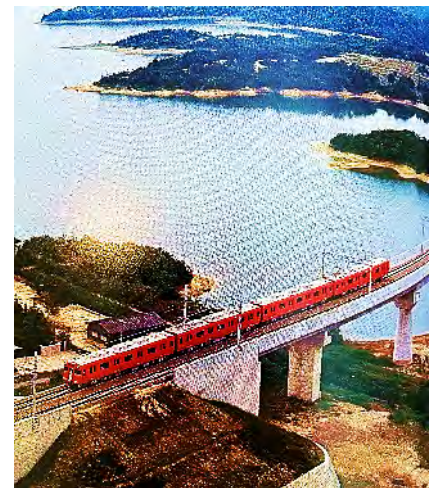
これは、具体的には今の国道 153 号線のバイパスを経由して、豊田市方面に抜ける案だったようです。

それが、昭和 47 年に発表された豊田線の計画では、**三好町の北部丘陵地帯を経由して豊田市**に行く路線の内容でした。

これは、三好町北部に「福谷地区」と「黒笹地区」併せて

301ha の丘陵地に**人口 32,000 人のニュータウン**を建設する大規模な計画を前提にしたものでした。

なお、「愛知池」の中に橋脚を建てる工事もありましたので、その際には飲み水の水質に悪影響を及ぼさないように細心の注意を払って、工事が進められたようです。



2 「三好ヶ丘駅」の設置条件

鉄道の駅としては「黒笹駅」と「浄水駅」は現在の位置に建設が決定していましたが、名鉄から「三好ヶ丘駅」を設置するには、**三好丘地域一帯の開発**をすることを条件とした提案がされました。

名鉄としては、当分の間、運賃収入が全く見込めない**先行投資型の事業**になるので、鉄道会社としては当然の条件だったのでしょう。

そこで三好町は、住宅・都市開発公団（現在のUR）に街の開発を委ねる方針を固め、昭和 54 年に第 1 地区として「**三好丘・三好丘旭**」**126ha の開発事業**が開始されました。



3 「三好ヶ丘駅」の建設

現在の「三好ヶ丘駅」の設置場所は、地形的に急こう配になっているので、平面の駅を造るには技術的には難しい工事になります。

そこで、名鉄と地元役員との間で交渉を重ね、高架式の「三好ヶ丘駅」の建設が決まったのでした。

☆現在の「三好ヶ丘駅」の姿



こんな苦勞をして建設された名鉄「三好ヶ丘駅」は、地上から10mの高架の駅で、駅前の通路は「ペDESTリアンデッキ」を採用し、ここから延びる緑道は歩車分離の安全な設計になっています。

街角のポイントの地点には、彫刻がおかれ「アートヒル三好丘」に文化と芸術の香りを漂わせています。

「三好丘」のネーミングの由来は？



このように、豊田線とニュータウンの計画が進展してきたのですが、その当時はまだ「福谷地区」の名のままでした。

そこで、昭和49年当時の地元の役員で協議を行い、次のような理由から「三好丘」に決定されました。

- ①三好町北部の丘陵地帯であることから。
- ②開発地域の「福谷」が「うきがい」と普通には読めないこと。

「国勢調査にご協力いただき、ありがとうございました。」(市長より)